

11 行動を起こす

取組事例

49

カブトムシが飛び交う森づくり

～ 産卵場作りと樹液の出る樹木の植林活動 ～

松阪市森林公園



1回目：カブトムシの産卵場づくりの様子

実施時期	1回目：令和5年7月、 2回目：12月
実施場所	松阪市森林公園
時間	2日間（1日間×2回）
対象・人数	子ども～大人 1回目 10人、2回目 24人
講師	森のせんせい2人 （青木 茂氏、末良 学氏）
備考	園内にある自動販売機の売り上げを「自然観察活動基金」として活用

めざす姿	11 行動を起こす （ 03 興味・関心を持つ、 05 変化に気づく、 06 知識・技能を身に付ける、 08 地域の課題に目を向ける、 09 地球の課題に目を向ける、 10 課題解決への参画）
ねらい	樹木の多様性について学び、カブトムシの集まる環境づくりのためにクヌギの植樹活動をする
内容	【1回目】 ・山には木材として利用する針葉樹のほかに、広葉樹等があり、さまざまな生き物と関わっていることを学ぶ ・原木シイタケの使用後のほだ木を活用して、カブトムシの産卵場づくりに取り組む 【2回目】 ・カブトムシの産卵場にいる幼虫が、将来過ごしやすい森になるよう、樹液が出るクヌギの木を植える
学習指導要領との関連	社会奉仕（小学生特別活動） 四季の変化・遊び・観察・育てる（小学1～2年生生活）、身の回りの生物・植物の体のつくり（根・茎・葉）（小学3年生理科）、森林資源のはたらき（小学5年生社会科）、植物の発芽・成長・結実（小学5年生理科）、食物連鎖（小学6年生理科）、自然の偉大さ・命のつながり（小学生道徳）、自然体験・ボランティア活動（総合的な学習の時間）、自然や文化に親しむ（小学生特別活動）、多様性と進化（中学校理科）、自然を大切にすることの意義（中学校道徳）、生活文化と森林環境（高校社会科）、多様性（生物・生態系）・生態系バランスと人為的攪乱・生態系と人間生活・資源の再利用（高校理科）



2回目：カブトムシの産卵場の幼虫の様子



2回目：クヌギ苗木の植林の様子

参加者の反応	・山には、木材として活用できるヒノキやスギ等の針葉樹、サクラなどの花や紅葉を楽しむ樹木、そしてドングリの実や樹液が出る広葉樹等があることを学んでもらえたようでした。
担当者のコメント	・多様性が重んじられる時代になり、この針葉樹や広葉樹、常緑樹等様々な樹木を育てる活動を通じて、健康で豊かな森づくりへの啓蒙活動に繋げていきたいです。